

ボランティア・NPO

こんにちは、支援センターです。

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、当センターは、ボランティアやNPO活動の支援と、ボランティアに対する県民、企業、行政などの理解の増進や活動への参加促進などを目的に、平成9年に県内各界のご意志によって設立され、以来13回目の新年を迎えました。この間、皆さまのご尽力によりまして、少子高齢化、福祉、環境、国際協力、文化、スポーツ、まちづくり、地域の安全や災害救援など様々な分野でボランティアやNPOの評価が高まってまいりました。しかしながら、国の「新しい公共」支援事業にみられる社会の期待の高まりの一方で様々な課題も少なくないと考えています。

こうしたことから、センターでは今後皆さまの声を一層取り入れながら支援の充実をはかり、各団体が目指す活動に貢献してまいりたいと考えております。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。本年がこれまで以上に良い年となりますよう皆さまのご繁栄をお祈りいたします。



「第22回ボランティア・NPO大会」を開催しました！



10月29日(金)、30日(土)に富山県総合福祉会館(サンシップとやま)において「第22回富山県民ボランティア・NPO大会」を開催しました。

1日目は、式典では、犬島伸一郎大会長の挨拶、知事祝辞のあと、厚生労働大臣表彰伝達、知事表彰、ボランティア活動推進富山県民会議会長表彰が行われ、最後に参加者全員で大会アピールを採択しました。また、式典終了後には、『「100人村」が問いかけるもの』テーマに、池田香代子さん(作家・翻訳家)からご講演いただきました。

2日目は、ボランティア団体・NPO等のステージ発表が行われました。

また、今大会では2日間にわたり、作品展示・販売、活動紹介パネル展示を行いました。

今回、富山県ボランティア活動のマスコット「ハーティ」が新たに着ぐるみとなって、歌や踊りのステージ発表やワークショップ会場に登場し、子どもたちや学生の人気を集めました。

たくさんの方々のおかげで、無事にすすめることができました。大会に参加いただいた皆さん、出展・出演いただいた皆さん、運営協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



大会開催結果概要

- 来場者数(2日間) 約800名
- 発表・出展参加団体数 46団体
- 運営ボランティア 66名
- 収集ボランティアコーナー
(ペットボトルキャップ約800個でポリオワクチン1人分)
大会2日間持ち込み数：15,540個(19人分)
大会前にお持ちいただいた分を含めると28,000個(35人分)
- ボランティア「一言メッセージ」投票者数 156名
- スタンプラリー参加者数 162名
- 来場者アンケート回答者数 100名

☆☆☆支援センター活動報告☆☆☆

「NPO実務講座(第4回マネジメント力向上講座)」を開催！

11月26日(金)、「平成22年度NPO実務講座(第4回NPOマネジメント力向上講座)」を開催しました。全国各地のコミュニティビジネスを支援しておられる永沢 映さん(NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事)を講師にお招きし、「NPOのためのコミュニティビジネス入門～地域貢献と組織の自立を目指して～」と題して、コミュニティビジネスの基礎について学びました。新潟県三条市や千葉県香取市の取り組み事例など、多くの事例の紹介を通して、コミュニティビジネスによる地域活性化の進め方や成功と失敗のポイントなどについてお話ししていただきました。受講者からは「分かりやすかった」、「今後の活動の参考になった」など、大変好評でした。



「NPO法人労務管理基礎講座」を開催！

12月2日(水)、「NPO法人労務管理基礎講座～労働保険・社会保険の手続きや労務管理～」を開催しました。社会保険労務士の森澤光雄さんを講師にお招きし、職員を雇用したときに必要な社会保険や労働保険の手続きや労務管理の基礎を学びました。森澤さんからは、NPO法人も企業と同じで職員を雇用すれば義務が発生し、手続きが必要であること、また、社会保険の適用や加入条件、時間外労働等の労働基準法のポイントなどを丁寧にわかりやすく説明いただきました。

「東海・北陸地区生協災害対策図上演習」に参加！

12月6日(月)、ボルファート富山(富山市)において「東海・北陸地区生協災害対策図上演習」が行われました。

県生協連合会ほか各県の生協関係機関、県社会福祉協議会、行政機関(富山県)等から約80人が参加し、災害時の連絡体制を確認しました。

呉羽山断層帯を震源とする震度6程度の地震が発生したとの想定のもと、人的被害やライフライン状況を確認しながら、対策本部設置や支援物資の調達要請を行う過程の訓練を行いました。

訓練後、生協関係者のワークショップがあり、訓練での課題や対策マニュアルの問題点が話し合われました。



NPO法人設立ミニ講座&相談会を開催！

10月8日(金)、12月14日(火)に、「NPO法人設立ミニ講座&相談会開催」を開催しました。

この講座は少人数制で行い、質問の時間を多く取ることにより、NPO法人設立への理解をより深めてもらおうという目的で開催しています。

参加者からは、NPOの立ち上げについて詳しい説明が聞けた、設立に関する幅広い知識を得ることができた、少人数なので質問がしやすい、細かなことが聞きやすかった、などの感想がありました。

同様の講座を1月14日(金)と2月15日(火)にも開催しますので、興味のある方はぜひご参加ください。



～ NPO法人紹介 ～

新しくNPO法人となった団体や面白い取り組みをされている団体などを紹介するコーナーです。
まず、富山市の「NPO法人ポケットキッズ」の藤田理事長にお聞きしました。

Q 1 活動内容をお聞かせください。

小学校に就学している留守家庭の児童に対して、放課後及び長期休暇中の健全な育成を図る学童保育事業を行い、保護者の仕事と家庭の両立を支援することを目的に活動しています。(21年に地域ミニ放課後児童クラブ事業、22年度に放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)を行っています。)

子どもたちはここへ来ると出席簿に記入して、来るはずの子供が来なければ連絡して所在を確認しています。ここからお稽古に行く子供もいるので所在はきちんと確認しています。

いつも、にぎやかを通り越しているくらいです。1階では宿題を行い、体を動かす子供は2階に行きます。また、近くにある公園で遊んだり、ゴミ拾いのボランティアもしたりします。



Q 3 法人になる際の苦労や現在の苦労、法人になって良かったことなどを、お聞かせ下さい。

苦労したのは場所探しでした。先に始めたミニとも行き来があるので離れた場所で活動したくなかったからです。また、資金面でも苦労しました。そのため、助成金も申請しました。

法人になって良かったことは、場所探しなどで飛び込みで話を聞いてもらうときも個人ではなかなか聞いてもらえませんが、名刺を出し、法人であることが分かると、話を聞いてくれます。名刺の効用はかなりあると思います。まして、女性しかいないのでなお更かと思っています。

Q 4 今後の目標をお聞かせください。

この地区では、まだまだ、児童が増えています。ですから、もう少し、受け入れ数を増やしていきたいと思っています。また、そのための場所も確保したいと思っています。

地域で育った子どもたちが地域に戻って来たとき、そういえばこんなことをしたなと、思い出してくれる場所であってほしい、また、その時だけの場ではなく、考えてくれる場所であってほしいと思っています。

子どもたちのために地域と連携して交流を図り、また保護者が安心して働けるような場を作りたいですし、地域に恩返しをしたいと思っています。また、この事業を受け継ぎ、後に続いてくれる人達の育成にも協力していきたいと思っています。

名 称：NPO法人ポケットキッズ

事務所：富山市婦中町速星598

理事長：藤田 悦子



Q 2 法人設立のきっかけをお聞かせください。

子どもたちの自主的な遊び場を提供する地域児童健全育成事業を子ども会が児童館で実施していました。婦中町では子どもが増えてきて、21年の新入生を迎える時点で定員を設けることになり、溢れる子供たちが出てきました。その溢れた子供たちをなんとかしたいという思いで、地域ミニ放課後児童クラブ事業を立ち上げることとしました。

私(理事長)はその時、子ども会の会長をしていて、今の指導員さんが子ども会で働いていました。3人で地域ミニ放課後児童クラブ事業を立ち上げたのですが、今後増えるであろう婦中地域の子供達を受け入れることは、個人ではどうにもなりませんし、何のバックアップ、資金もありません。

そんなときに、NPO法人を立ち上げた方の話を聞き、NPO法人化することとしました。



続いて、「NPO法人とやまアウトドアスポーツクラブ」の浅岡理事長にお聞きしました。

Q 1 活動内容をお聞かせください。

健常者だけでなく障害者や高齢者、また、子どもも含むすべての人々に対して、富山の自然の中で、スポーツや余暇活動に参加できる場を提供するとともに、正しいスポーツ知識に基づいた指導を行うことで、健康の保持増進、健全育成、環境教育、スポーツ振興に寄与することを目的として活動しています。

自閉症の子ども達と野外体験川くだりをしたときには、子どもたちはとても喜んでいました。

活動としては、ゴムボートを使っの川くだりが中心です。場所は神通川、黒部川、庄川で行っています。滋賀県の中学校の修学旅行も受けました。また、富山市芝園小学校校区とのネイチャーゲームと川くだりなどをも行いました。

名 称：とやまアウトドアスポーツクラブ

事務所：富山市平吹町2-14

理事長：浅岡 弘彦



Q 2 法人設立のきっかけや名前の由来などをお聞かせください。

12～3年前から川スポーツをクラブでやっていたのですが、知り合いに海外協力隊（ネパール）に行っている人がいて、そこへ仲間3人で訪れた際に、ラフティング体験することができました。とても感動して、この楽しさや有用性を普及させたい、また、富山でもやってみたいと思いました。

私（理事長）自身としては2～3年前から法人化したいと考えていましたが、他のクラブ員と方向がかみ合わず長い期間議論を続け、ようやく法人化することができました。名称については、そのままの名前ですが、少し長いかなと思います。でも、名前を見てどんな団体かすぐにわかってもらえると思います。

Q 3 法人になる際の苦労や現在の苦労、法人になって良かったことなどを、お聞かせ下さい。

まず、書類の申請の仕方が分かりませんでした。また、会員の意識の差をどう埋めるかに悩みました。会員を増やす方法が、なかなかつかめません。行事に参加はしてくれるが、会員の増加には結びつきません。今後は、年間通じて活動できるものを考えたいと思っています。

また、窓口を広げ、高齢者も増やしたいとも思っています。インターネットの広報やイベント会場でチラシを置いてもらったりしていますが、認知度が少ないのでなかなか結びついていません。現在は、県外からの参加者が多く、インターネットでの申込みが90%ぐらいです。旅行代理店からの問い合わせもあります。

法人になって良かった点としては、社会的信用度が増したためか、行政と直接話し合える機会が持てるようになったことなどが挙げられます。市や観光協会などと協働もできるようになってきました。県の児童青年家庭課（子育て支援）の助成金ももらいましたし、NPO限定の笹川事業助成金ももらいました。



Q 4 今後の目標をお聞かせください。

他の協会（カヌー）や社団法人などと連携して事業の拡大をしていきたいと思っています。今は夏の事業だけですが、冬の活動も企画して、立山山麓などでもやってみたいと考えています。そして、健常者だけでなく、高齢者、子どもや障害者にも、体験してもらいたいと思っています。

県・NPO主催行事のお知らせ

シビックプライドセミナー「協働で、まちがもっと好きになる」

今回のセミナーは、おいしいランチを一緒に食べてうちとけた雰囲気の中、「シビックプライド」「地域の編集」というちょっと新しいキーワードを切り口に、協働力をアップするヒントを学びます。

※シビックプライド：市民がまちに抱く愛着や誇りのこと

日 時：1月15日（土） 11:00～16:00

場 所：氷見市海浜植物園 2F 富山県氷見市柳田3583

講 師：紫牟田 伸子さん（シビックプライド研究会/日本デザインセンター チーフプロデューサー）

ファシリテーター：中西 紹一さん（プラス・サーキュレーション・ジャパン 代表）

定 員：40名程度 申込締切：1月11日（火）

参加費：無料（ランチ代実費：お1人1000円のみかかります）

主 催：富山県、NPO 法人N プロジェクトひと・みち・まち

問合先：NPO 法人N プロジェクトひと・みち・まち

Eメール npro@live.jp FAX 0766-22-4544 TEL(お急ぎの場合)090-3765-1493

ハローボランティア2011

日 時：1月22日（土）13:30～(開場は60分前)

会 場：富山国際会議場3F ホワイエ (¥：入場無料)

内 容：県内で活躍するまちづくり団体・NPO・ボランティアグループ・社会企業家が集まり、映像による活動の紹介やボランティア活動に興味のある方の相談ブースを開設します。

主 催：RITZ エンターテイメント

問合先：RITZ エンターテイメント 共催 NPOサポートセンター

協 賛：富山県民ボランティア総合支援センター

※ 出展団体募集中 !! 詳しくは・NPOサポートセンター 070-5630-6082 (中村) まで

マスコミの活用法 ～あなたの活動がニュースになる!!～

現役マスコミ関係者2名をむかえ、広告ではない、マスコミを使った広報のヒントを学びます。

日 時：1月30日（日） 13:00～16:15

場 所：砺波市文化会館 研修室 富山県砺波市花園町1-32

講 師：山下 隆司さん（株式会社 シーエーピー 代表取締役社長）

夏原 一郎さん（朝日新聞社富山総局 総局長）

参加費：無料

主 催：富山県、NPO 法人富山観光創造会議

問合先：NPO 法人富山観光創造会議

TEL 070-5630-6082 FAX 076-407-0511 URL <http://www.npotoyama.com/>

支援センター相談会・講習会情報

NPO法人設立ミニ講座&相談会開催

「NPO法人を立ち上げたいけど、どうしたらいいの?」「NPO法人になったら、どんな責任があるの?」など、NPO法人の立ち上げ・運営についてなどについて、質問の時間をたっぷり取った、少人数での講習会を開催します。NPO法人の設立をお考えの方は、この機会にぜひ参加ください。

■日 時 第3回目 1月14日（金）13:30～15:30

第4回目 2月15日（火）13:30～15:30

※いずれも同じ内容です。

■場 所 富山県総合福祉会館（サンシップとやま）7F 703号室

■内 容 1 NPO法人の設立や認証手続きについて

2 NPO法人の設立について質疑応答や相談など

■講 師 富山県男女参画・ボランティア課職員

■定 員 10名（先着順） 要申込（当支援センターまで申込下さい。）

第2回NPO会計税務基礎講座（実務者向け）

企業会計に準拠した複式簿記の決算事務講座です。（3回連続講座です。）

- 日 時 ①1月21日（金）②1月25日（火）③1月28日（金）各日とも18：30から2時間程度
- 場 所 富山県総合福祉会館（サンシップとやま） 6階 601号室
- 講 師 千田 篤さん（公認会計士・税理士）
- 定 員 20名 ■参加費 1,500円（資料代）
- 問合せ先（当支援センターまで）

NPO法人「会計税務」個別相談会

NPO法人の会計税務についての個別相談会です。事前に申込が必要です。（相談時間は1時間程度）

- 日 時 2月10日（木）13：00～17：00
- 場 所 富山県総合福祉会館（サンシップとやま） 5階501号室
- 講 師 千田 篤さん（公認会計士・税理士）
- 問合せ先（当支援センターまで）

助 成 金 情 報

オールアイシンNPO活動応援基金

アイシン軽金属株式会社では、地域のニーズに適合した公益性の高いボランティア活動を支援します。

- 対象活動 次の項目のいずれかを目的とする富山県内のボランティア団体
この基金は、新しい活動・企画に対しての応援基金です。
 - 1. 社会福祉活動の推進 2. 自然・環境保護活動の推進 3. 青少年育成活動の推進※ボランティア活動とは“自らの意思で企画または実施する活動”とします。
- 助成金額 1件あたり10万円
- 募集締切 1月24日（月）
- 問合せ先 オールアイシンNPO活動応援基金事務局
〒934-8588 射水市奈呉の江12-3 アイシン軽金属株式会社総務部総務グループ内
TEL 0766-82-8800 FAX 0766-82-1109

第12回社会貢献基金助成公募

（社）全日本冠婚葬祭互助協会では、第12回社会貢献基金助成公募を行います。

- 対象団体 次の条件を満たす、非営利組織又は大学、研究機関（個人も可）で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等
 - （1）定款に準ずる規約を有し、自ら経理し、監査することができる会計機能を有すること
 - （2）団体等の主たる事務所（又は準ずる所）を日本国内に有すること
 - （3）団体等の意志を決定し、今回申請する活動を執行する体制が確立していること
 - （4）団体の活動実績（今回申請する活動又は類似した活動）を3年以上有し、今回申請する活動のニーズが高く今後も継続性が期待できること
 - （5）申請する事業に対し、他の民間団体等からの助成を除く、自己資金を保有すること
- 対象事業（1）研究助成事業（2）高齢者福祉事業（3）障害者福祉事業
（4）児童福祉事業（5）環境・文化財保全事業（6）国際協力・交流事業
※詳細は募集要項をご覧ください。
- 助成金額 1件あたり200万円を上限（ただし研究助成事業は100万円を上限） 総額1,000万円
- 募集締切 2月28日（月）
- 問合せ先 社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16 日本生命新橋ビル9F TEL 03-3596-0061

お問い合わせ先 富山県民ボランティア総合支援センター（URL <http://www.toyamav.net/>）
〒930-0094 富山市安住町5-21 富山県総合福祉会館内
TEL：076-432-2987 fax：076-432-2988 E-Mail：info@toyamav.net